

鶴岡市農業委員選挙

37人が無投票当選 12人が新人と交替

11月6日

任期満了にともなう
鶴岡市農業委員選挙が
11月6日告示され、同
日立候補の受付が締め
切られ、8選挙区全て

で定数通りとなり、37人の全員が無投票当選

鶴岡の名工に 榎本美芳さん(柳久瀬) 美術織物の価値を受け継ぐつづれ織り職人



(写真・上) 榎本美芳さんの作品「龍図」。(左)「薬師寺聖観音菩薩像」として本人。(右2つ) 西荒屋の「知憩軒 小屋ギャラリー」にて展示・販売しているつづれ織りの小物

となりました。
12人が新人・元と交替しました。
日本共産党は、第3選挙区(大山・西郷・湯野浜・加茂)で5期15年間務めてきた菅井巖氏(現・鶴岡市議)から、荻原優太氏(30歳・大山)にバトンタッチを果たしました。
任期は26日から3年間です。

で糸づくりにも挑戦しています。
絹織物の「つづれ織」は、鶴岡(宝町)出身の遠藤虚籟(1890〜1963年)によりその芸術性が高められ、榎本さんは美術織物としての価値を今に受け継いでいます。
活動拠点の工房「虚籟庵」は、虚籟の墓碑と没後25年を記念して建てられた糸塚のある天沢寺の一角(丸岡城跡史跡公園の北側)にあり、「つるおか絹物語」を発信しています。

絹織物のつづれ織職人の榎本美芳(みよし)さん(柳久瀬・51歳)が、今年度の鶴岡市卓越技能者表彰を受賞されました。

榎本さんの代表作品に「薬師寺聖観音菩薩像」「黒川能隅田川(夕ペストリー)」など。虚籟庵のメンバーの作品は櫛引・西荒屋で長南光さんが営む農家レストラン「知憩軒(ちけいけん) 小屋ギャラリー」にて展示・販売しています。

榎本さんは西川町出身で、1988年から皮革工芸を学び、96年からつづれ織り技法の習得に励み、2009年に長南光(みつ)さん(2007年鶴岡市卓越技能者表彰)と「つるおか綴れ 虚籟庵(きよらいあん)」を丸岡に設立。現在5人のメンバーで活動しています。
2年前から桑を植栽して養蚕を始め、生産した蚕から座繰り技法

今年度の鶴岡市卓越技能者表彰は榎本さんの他に、佐藤徹夫氏(白山・菓子製造)と五十嵐佐多男氏(鼠ヶ関・建築板金)の両名が受賞されました。
表彰式は20日に「新茶屋」でおこなわれます。

鶴岡市農業委員会委員の当選者 (11/6) (届け出順、敬称略)

第1選挙区	佐藤康弘 (54) 鈴木 裕 (58) 原田政幸 (46) 三浦伸一 (67) 阿部 隆 (61)	新海町 平田 福田 八ツ興屋 谷定	新再 新再 新再 新再
第2選挙区	木村 充 (49) 瀬尾 眞 (64) 富樫 護 (56) 榎本新悦 (58) 菊池勝三 (56)	矢馳 水沢 白山 少蓮寺 三瀬	新再 新再 新再 新再 元
第3選挙区	荻原優太 (30) 小笠原道明 (55) 太田裕徳 (53) 今野喜好 (58)	大山 辻興屋 馬町 大山	新再 新再 新再 新再
第4選挙区	上林 淳 (50) 石川 守 (51) 奥山康光 (39) 斎藤英道 (41) 本間 司 (54)	添川 野田目 小中島 渡前 長沼	再再 再再 再再 再再 再再
第5選挙区	高橋 聡 (53) 斎藤 力 (56) 渡部幸也 (60) 新館 登 (43) 丸山晃聖 (51)	羽黒町町屋 羽黒町川代 羽黒町昼田 羽黒町川代 羽黒町荒川	再再 再再 再再 再再 新
第6選挙区	佐久間豊 (53) 小林義一 (57) 佐々木貢昌 (52) 前田 浩 (53) 森 繫太 (59) 富樫孝弘 (60)	西荒屋 黒川 田代 丸岡 たらのき代 上山添	新再 新再 新再 新再 新再 再再
第7選挙区	渡部長和 (64) 伊藤敏一 (53) 亀井龍夫 (62) 清野吉喜 (56)	東岩本 熊出 倉沢 越中山	再再 再再 再再 新再
第8選挙区	五十嵐覚 (55) 伊藤治一 (54) 鈴木ゆり (56)	関川 戸沢 小名部	再再 再再 再再

公選で今回勇退する委員(第1: 富樫茂広=大宝寺町、佐藤俊=林崎)(第2: 小笠原重雄=三瀬、鈴木敬一=山田)(第3: 菅井巖=中橋、小林眞司=下川)(第4: 武田三喜子=砂塚)(第5: 丸山成人=羽黒町荒川)(第6: 富樫努=下山添、伊藤忠=西荒屋、菅原一幸=馬渡)(第7: 渡部一弘=大綱)

12月6日(土)民報藤島の会

「民報藤島の会」では12月6日(土)、藤島駅前町内会館で午後1時30分から「集い」を開きます。

1941年12月8日に太平洋戦争に突入した開戦記念日を前に、戦争体験と平和の話を聞きます(交渉中)。



剣道「実践・体験発表」 今野翔君(東栄小・6年)が東北大会へ 中学生部門は佐藤大心君(添川2区)

9日の藤島体育館での錬成大会で「文武両道」について学んだことなどを力強く発表しました(写真上)。

中学生部門では、昨年度に小学生部門で日本剣道少年団研修会全国大会に出場した佐藤大心(たいしん)君(藤島中1年・添川2区)が県代表で出場します。藤島地域から小・中

日本の未来も決める沖縄知事選 オナガ勝利へ 来鶴した菅原文太さんも訴え ―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

★期日 12月6日
午後1時30分～5時
★場所 藤島駅前町内会館
★会費 懇親会費1000円(女性500円)
★問い合わせ:成田忠一(64・4765)

16日投票を迎える人だからおよそ1000人、オナガ雄志候補に1人の参加である。オナガ候補は自民党員で県議・那覇市長を務める、前回仲井真候補の人、しんぶん赤旗11月2日付が報じている。しかし昨年自民党の脅しと金で裏切った仲井



オナガ勝利へ1万5千人

沖縄知事選

新基地阻止熱気あふれる

しのぎを削ぐ大激戦

参加者の思い

沖縄の団結全国に示す■たらい回しさせない

しんぶん赤旗11月2日

真氏と袂を分かつての立候補。県民の民意を携えて、日米両政府、そして国連とすべて回り、新辺野古基地は絶対につくらせない。基地は沖縄経済の最大の障害。沖縄の歴史・伝統・文化といったソフトパワーでこそ発展できると決意表明した。

争を前提に沖縄を考えている。辺野古の海を、勝手に他国へ売り渡さないでくれ」と訴えた。沖縄に無二の親友T君がいる。沖縄返還以前に来鶴したとき座談会を開いた。その席で彼の言った言葉、「沖縄はいわば日本の小指、でも小指の痛みを本土の人に分かって欲しい」。今も耳に刺さる。彼を通して些少の募金を送った。



言い方で本当の事を 伝えない

物は言いようで角が立つというが、近頃のNHKは変に言い方を替えて本当の事を伝えてないから腹が立つ。

▼それは福島原発4号機の燃料棒を片付ける作業が終わったとのニュースで、他にそれを優先して、という言い方をしているからだ。

▼何が優先なものか。他はメルトダウンで放射能が強く手が出せないから、4号から始めるしかなかったのだ。▼それをサモ良い事をしたかの如く、優先なごとと耳障りのいいことを言うんだからナ。

▼併せて、計画通りに作業が進まないことを「先に伸ばす方針」とノタマウのは、今でも国民をダマそうとしていると感ずるのだ。

▼先日、老人クラブの研修とクラス会を宮城県は女川で開いた。こ

放射能の被害は聞かなかったが、犠牲者は行方不明者を入れて800名を越えているとの事。

▼被害が少なかった私達の宿、華夕美と万石蒲鉾屋は地域で大きな役割を果たしたと聞く。▼この町、海に接していて平地が少ない。運動場やグラウンドが仮設住宅や商店街になっており、それでも足りないから隣の石巻市に累々たる長屋と校庭を借りた学校があった。

▼ここで買物をすることは直接復興に手をかすことだと言われ、財布の口が大きく開いたようだが、ある人の話で、大臣とかが来て、も役所が時間と金と気を使うだけで復興は進まないから、あなたの方がありがたいと言

▼首相の言うようには復興はしていないだろうと思っただけだ。だが、正に道は遠いとの感。被災地よ頑張れ、だ。(石川)